

大会講演目次

第1会場

(講演8分)
討論2分)

午前の部(繁殖・生理・遺伝・育種)

- I-1 ニワトリ中雛および成鶏に由来する核体を用いた体細胞核移植 GGCs の作製 (9:00~9:10)
○中島友紀・石黒 進・金井幸雄・田島淳史(筑波大)
- I-2 凍結融解操作がニワトリ始原生殖細胞の生存性および生殖巣移住能へ及ぼす影響 (9:10~9:20)
○中村隼明^{1,2,3}・臼井文武¹・柏木まや¹・坂田絢子¹・小野珠乙¹・武田久美子²・蕪澤圭二郎²・鏡味 裕¹・田上貴寛²
(¹信州大・²畜草研・³学振)
- I-3 ニワトリにおける生殖系列キメラ早期スクリーニング法の開発 (9:20~9:30)
○朝日向芳光・渡辺綾衣・青木紗来・丸山公明(明治大)
- I-4 ニワトリ細胞, ヒト細胞, 大腸菌での遺伝子組換えヒトアンチトロンビンⅢの発現と生理活性の比較 (9:30~9:40)
○長谷川新・森 悠・田邊信哉・大門美陽・丸山公明(明治大)
- I-5 ニワトリおよびマウスの発生・成長ステージにおける DNA メチル化酵素遺伝子の発現に関する比較研究 (9:40~9:50)
○磯兼妙子¹・Mohamed E. Ghanem¹・西堀正英¹・平岩典子²・下桐 猛³・安江 博⁴
(¹広島大院生物圏・²理研リソース・³鹿児島大農・⁴生物研)
- I-6 造血幹細胞同定を目的とした致死量放射線量の探索 (9:50~10:00)
○臼井文武・中村隼明・小野珠乙・鏡味 裕(信州大)
- I-7 ニワトリの卵形質に関する Z 染色体上の QTL (10:00~10:10)
○後藤達彦¹・石川 明²・鬼塚慎一¹・後藤直樹¹・藤川愉吉¹・海野徹也¹・西堀正英¹・都築政起¹
(¹広大院生物圏・²名大院生命農学)
- I-8 20 週齢の大シャモと白色レグホーンにおける肉関連形質の比較 (10:10~10:20)
○中原崇博¹・西村敏英^{1,2}・西堀正英¹・都築政起¹(¹広大院生物圏・²日獣大応用生命)
- I-9 異なる品種を用いた肉斑の遺伝的解析 (10:20~10:30)
○奥村友美¹・宇野 覚¹・樫 孝英¹・田村勝視¹・榊原豊一¹・宮田 透¹・谷口 慎²(¹家畜改セ岡崎牧場・²農林水産省)
- 休 憩 (5分) (10:30~10:35)**
- I-10 DNA 多型情報に基づく沖縄および本土の軍鶏の起源と遺伝的多様性 (10:35~10:45)
○岡 孝夫¹・井野靖子¹・野村こう¹・花田博文¹・天野 卓¹・高田 勝²・林 良博³・秋篠宮文仁¹
(¹東農大農・²進化生物学研究所・³東京大学総合研究博物館)
- I-11 ニワトリの卵管腔部におけるプロスタグランジン F_{2α} 受容体の存在と放卵前後における結合性の変動 (10:45~10:55)
○下田祥子¹・中山広之²・高橋哲也¹・川島光夫¹(¹岐阜大院応生・²岐阜大連大農)
- I-12 ウズラ胚発生における卵殻膜分解に対する漿膜プロテアーゼの役割 (10:55~11:05)
○吉崎範夫¹・岩澤 淳¹・安増茂樹²(¹岐阜大・²上智大)
- I-13 ブロイラーヒナの視床下部における神経ペプチド及びチロシン水酸化酵素の分布 (11:05~11:15)
○平松浩二・中村 顕・渡辺 純(信州大農)
- I-14 ニワトリ成長ホルモン受容体細胞内情報伝達系の解明 (11:15~11:25)
田原謙一¹・花井隆信¹・吉里秀雄³・笹浪知宏⁴・大久保武⁵・齋藤 昇^{2,1}・島田清司²・塚田 光¹
(¹名大院生命農・²名大院 ABRC・³名工大工・⁴静大農・⁵茨大農)

I-15 ニワトリ雛のアミノ酸添加飼料による成長促進が腺胃へのリンパ球移入に及ぼす影響 (11:25~11:35)
○吉村幸則・磯部直樹 (広大院生物圏)

I-16 Transmission of avian beta-defensins from the uterus mucosa to egg-shell membrane egg-shell (11:35~11:45)

○Ahamad Mohamad Abdel Mageed, Naoki Isobe and Yukinori Yoshimura
(Grad Schl of Biosphere Sci, Hiroshima Univ)

I-17 Expression of avian beta-defensins (avBDs) and toll-like receptors in chicken sperm (11:45~11:55)
○Shubash C Das, Naoki Isobe and Yukinori Yoshimura (Grad Schl of Biosphere Sci, Hiroshima Univ)

休憩 (65分) (11:55~13:00)

総会 (30分) (13:00~13:30)

学会賞授与式及び受賞者講演, 優秀論文賞・優秀発表賞授与式 (40分) (13:30~14:10)

休憩 (10分) (14:10~14:20)

午後の部 (遺伝・育種・繁殖・生理)

I-18 濃褐色卵を生産する採卵鶏の造成 I. 卵殻明度 (L*), 産卵成績, および 14 週齢時体重間の
遺伝的パラメーターの推定 (14:20~14:30)

○家入誠二¹・大塚真史¹・山下裕昭² (¹熊本農研セ・²熊本農政事務所)

I-19 卵殻強度強弱選抜系統の F₂ 交雑家系を用いた卵殻質関連形質の QTL マッピング (14:30~14:40)

○高橋秀彰¹・佐々木修¹・菲澤圭二郎¹・古川 力² (¹畜草研・²九農研)

I-20 大シャモと白色レグホーンの交雑 F₂ の成長曲線における QTL 解析 (14:40~14:50)

○後藤直樹¹・高橋秀彰²・石川 明³・都築政起¹ (¹広大院生物圏・²畜草研・³名大院生命農学)

I-21 ニワトリ精子の雄生殖道通過中における運動性, 先体機能および卵黄膜通過能に対する成熟変化 (14:50~15:00)

○アハマド ムスラ ウッデン¹・西野智玲¹・建本秀樹²・大倉信彦¹・川本康博¹・仲田 正¹ (¹琉大農・²琉大医)

I-22 凍結精液における品種の違いが耐凍剤の濃度および受精率に及ぼす影響 一第 2 報一 (15:00~15:10)

○石川寿美代¹・早川 博¹・加藤 勉¹・新實竜也²・今井隆雪²・筒井真理子² (¹岐阜畜研・²家畜改セ岡崎牧場)

I-23 鶏精液採取から凍結までの時間と耐凍剤濃度が受精率に及ぼす影響 (15:10~15:20)

○新實竜也¹・今井隆雪¹・田嶋慈恵¹・佐々木健二²・巽 俊彰²・西 康裕²・筒井真理子¹
(¹家畜改セ岡崎牧場・²三重県畜産研究所)

I-24 凍結胚盤葉細胞と凍結精液を用いた鶏の復元 (15:20~15:30)

○新實竜也¹・今井隆雪¹・田嶋慈恵¹・渡辺久子²・近藤 一²・筒井真理子¹ (¹家畜改セ岡崎牧場・²愛知農総試)

I-25 品種差が胚盤葉細胞の凍結融解後の生存率に及ぼす影響 (15:30~15:40)

○長尾健二¹・渡辺久子¹・中村明弘¹・近藤 一¹・新實竜也²・筒井真理子²・伊藤裕和¹ (¹愛知農総試・²家畜改セ岡崎牧場)

I-26 *PMEL17* 遺伝子を利用した名古屋種と白色レグホーンのキメラ個体の迅速判定 (15:40~15:50)

○中村明弘¹・渡辺久子¹・長尾健二¹・近藤 一¹・新實竜也²・筒井真理子²・伊藤裕和¹ (¹愛知農総試・²家畜改セ岡崎牧場)

I-27 GSP 系に出現した不完全アルビノ様変異について (15:50~16:00)

○木下圭司¹・渥美優介¹・水谷 誠¹・齋藤 昇^{1,2}・村井篤嗣²・並河鷹夫¹・吉村 崇^{1,2} (¹名大院生農附鳥セ・²名大院生農)

I-28 左右対称に発達した孵卵 17 日目ニワトリ胚卵巣の形態的特徴 (16:00~16:10)

○内藤 充¹・春海 隆¹・桑名 貴² (¹生物研・²国立環境研)

○印のついている演題番号は, 優秀発表賞の対象となります。

第2会場

(講演8分)
討論2分)

午前の部 (生理・栄養・飼料・経営・管理・畜産物利用)

- II- 1 産卵鶏におけるビタミン D₃-1 α -水酸化酵素の遺伝子解析と発現に関する研究 (9:00~9:10)
○早津友裕¹・杉山稔恵² (新潟大院自然科学研¹・新潟大農²)
- II- 2 産卵鶏骨髄骨の骨基質に関する組織化学的観察 (9:10~9:20)
○小島佳織¹・杉山稔恵² (新潟大院自然科学研¹・新潟大農²)
- II- 3 産卵鶏における総合福祉評価法
—科学的知見ベース, 環境ベースおよび動物ベースの比較— (9:20~9:30)
○新村 毅^{1,4}・BMB Bracke²・RM De Mol²・平原敏史³・江口祐輔¹・植竹勝治¹・田中智夫¹
(¹麻布大院・²Wageningen Univ. and Research Centre (オランダ)・³神奈川畜技セ・⁴現所属:名古屋大院)
- II- 4 産卵鶏における発酵ショウガ粉末の給与が産卵, 卵質および腸管組織に及ぼす影響 (9:30~9:40)
○インチャローン トッサポーン・山内高円 (香川大農)
- II- 5 竹酢酸・ケイ酸粉末給与と鶏における成長能および腸管組織の変化 (9:40~9:50)
○ラッタナウット ジャッサダ・山内高円 (香川大農)
- II- 6 竹酢酸・ケイ酸粉末による産卵鶏の成長能, 産卵成績および腸管絨毛組織へ及ぼす影響 (9:50~10:00)
○白石美美枝・山内高円 (香川大農)
- II- 7 中枢性インスリンがニワトリヒナの血液性状ならびに嚥嚥滞留に及ぼす影響 (10:00~10:10)
○白石純一・柳田光一・谷澤 宏・福森理加・杉野利久・豊後貴嗣 (広大院生物圏)
- II- 8 ブロイラー胚における卵黄嚢脂質の取り込み経路の同定 (10:10~10:20)
○大井 梓¹・佐藤桃香²・太田能之³・古瀬充宏²・鎌田壽彦¹・佐藤 幹¹ (¹農工大院農・²九大院農・³日獣大)
- II- 9 組換え型ニワトリ IgY-Fc の生合成と卵黄輸送能の解析 (10:20~10:30)
○村井篤嗣・BAE Hae-duck・本田寛幸・小林美里・堀尾文彦 (名大院生命農)

休憩 (5分)

(10:30~10:35)

- II-10 鶏卵におけるナンノクロロプシスとアスタキサンチンの影響 (10:35~10:45)
○齋藤文也^{1,2}・喜多一美¹ (¹岩手大院連農・²小岩井農牧(株))
- II-11 マルチビタミン及びカンタキサンチン強化による鶏卵の生産性や卵質改善効果 (10:45~10:55)
○濱田尚美¹・西井真理²・早川岳彦³・八田 一¹
(¹京都女子大・²京都府農林水産技術センター 畜産センター・³DSM ニュートリションジャパン(株))
- II-12 *in ovo* によるカンタキサンチンの種卵への投与がブロイラー種鶏の孵化率に及ぼす影響 (10:55~11:05)
○早川岳彦・井上直俊・菅原盛幸・太田能之 (日獣大院応用生命)
- II-13 同一飼養管理をした比内地鶏とブロイラーの肉質特性比較 (11:05~11:15)
○丸丸宗弘¹・小松 恵¹・石塚条次¹・高橋秀彰² (¹秋田農技セ畜試・²畜草研)
- II-14 鶏における Potassium Diformate の筋肉量増加機構について (11:15~11:25)
○本田和久¹・実安隆興¹・伊藤博史²・小田原保男²・上曾山博¹・長谷川信¹ (¹神戸大院農・²農産工研開セ)
- II-15 メチオニン過剰がニワトリ胚筋芽細胞の蛋白質合成に及ぼす影響 (11:25~11:35)
○喜多一美¹・古屋雄一朗¹・高木 智²・藤條武司² (¹岩手大農・²味の素アミノサイエンス研)
- II-16 食性の異なる鳥類における含硫アミノ酸排泄形態の比較 (11:35~11:45)
○太田能之¹・松丸伸江²・河村早苗²・菅原盛幸¹ (¹日獣大応用生命・²江戸川自然動物園)
- II-17 寒冷期における飲水温度が採卵鶏の産卵性に及ぼす影響 (11:45~11:55)
○龍田 健¹・久宗幸恵²・田中紀江²・藤橋拓志³ (¹兵庫農総セ・²(株)藤橋商店)

休 憩 (65分) (11:55~13:00)

総 会 (30分) (13:00~13:30)

学会賞授与式及び受賞者講演、優秀論文賞・優秀発表賞授与式 (40分) (13:30~14:10)

休 憩 (10分) (14:10~14:20)

午後の部 (栄養・飼料・疾病)

II-18 抗菌剤投与が成長初期ブロイラーの腸管免疫関連遺伝子発現に及ぼす影響 (14:20~14:30)

○高橋和昭・三浦美子・宮崎 悠・水野孝紀 (東北大院農)

II-19 グリシンまたはグルタミン添加飼料は雄種鶏の抗体産生を増加しストレスを軽減する (14:30~14:40)

○松下浩一¹・奥田美杉¹・小林政雄¹・高橋和昭² (¹山梨畜試・²東北大院農)

II-20 イムノバイオティック乳酸菌給与による初生ヒナの腸管免疫増強作用 (14:40~14:50)

○佐藤 幹¹・高橋和昭²・遠野雅徳³・三浦美子²・鎌田壽彦¹・池上秀二⁴・北澤春樹²

(¹東京農工大院農・²東北大院農・³畜草研・⁴明治乳業食機能研)

II-21 ブロイラーの日齢および給与飼料と盲腸内細菌叢の変動 (14:50~15:00)

○齊藤恵子・今中洋平・尾之上浩 (コーキン化学)

II-22 中鎖脂肪酸混合物 (ガリビオティック) によるパストレラ汚染レイヤー農場の清浄化と生産性回復 (15:00~15:10)

○鈴木敏明・野口順子・大熊就明 (物産バイオテック(株))

II-23 マンノクリーンβ (酵素処理ヤシ粕) の商用鶏生産における飼料効率改善効果 (15:10~15:20)

○福井健介¹・伊吹昌久¹・Jennifer Kovacs-Nolan²・峯 芳徳² (¹不二製油(株)・²カナダ ゲルフ大)

II-24 ホワイトレグホンの11日目胚による20kHz磁界の胚毒性評価 (15:20~15:30)

○西村 泉・根岸 正 (電力中央研究所)

II-25 コクシジウム症に対する奥美濃古地鶏とブロイラーの感受性の違い (15:30~15:40)

○立川昌子・石川寿美代・早川 博・加藤 勉 (岐阜畜研)

II-26 誘導換羽法による採卵種鶏供用期間の延長技術に関する予備的検討 (15:40~15:50)

○山本力也¹・山本忠博¹・阿部慶和¹・浅井文吾¹・岡村 裕¹・安藤 学²・美濃口直和²・筒井真理子¹

(¹家改セ・²愛知農総試)

II-27 シンバイオティクス添加ふすま主体換羽飼料の制限給与が換羽処理期間中の生殖器、腸内細菌叢及び抗酸化能に及ぼす影響 (15:50~16:00)

○安藤 学¹・石代正義¹・美濃口直和¹・近藤 一¹・富田悠²・橋川真之介²・安田憲司²・大津晴彦³・山崎 信³・阿部啓之³

(¹愛知農総試・²名糖産業(株)・³畜草研)

II-28 ふすまにあわ殻を混合した誘導換羽飼料の不断給餌が休産に及ぼす影響 (16:00~16:10)

○石代正義・安藤 学・美濃口直和・近藤 一 (愛知農総試)

○印のついている演題番号は、優秀発表賞の対象となります。